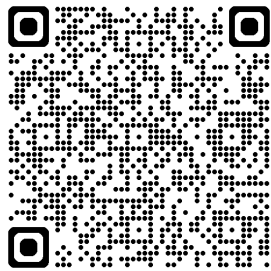
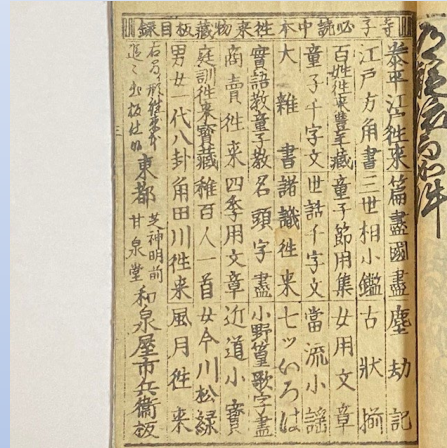


全44枚 1枚当たり30秒、  
全体で22分スライドショー

1/44

2025.1.29 開設  
2025.2.9 更新

# 寺子屋教育の方法と内容 ー寺子屋を現在に活かすー

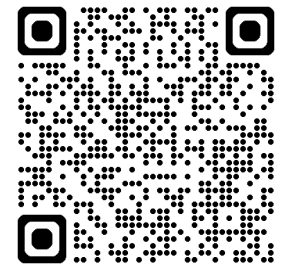


夜久 竹夫（日大文理）

2025.3.予定

応用オートマトン研究会

甘泉堂板「百姓  
往来」巻末広告  
ページより



このスライドのQRコード

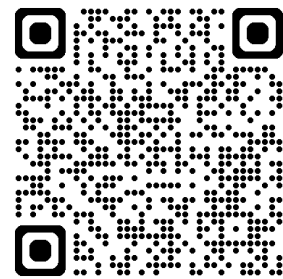
夜久学館寺子屋サイトのQRコード

YGD-2025-003, ©2025 YakuGakkan, CC BY-SA

YGD-2023-008

# 引用資料

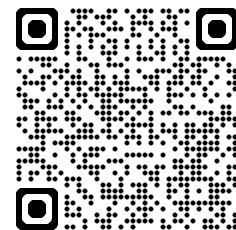
2/44



1. 和泉屋市兵衛、寺子必読書、百姓往来豊年蔵 最終ページ、1866、甘泉堂
2. 石川謙、寺子屋：庶民教育機関 日本歴史新書、237p、1960、至文堂
3. 川本亨二、初等算数教科書としての「塵劫記」、教育学研究 35(1968), 105-114.
4. 窪田祥宏、文部省創定小学教則について、日本の教育史学11(1968)、27－49.
5. 石川松太郎、藩校と寺子屋、p238、1978、教育社
6. 長友千代治校注、女重宝記・男重宝記－元禄若者心得集、現代教養文庫1507、社会思想社、1981
7. 丹和浩解説、寺子屋の学習と往来物、平成5(1993) 展示を編集、東京学芸大学教育コンテンツアーカイブ、1993  
<https://d-archive.u-gakugei.ac.jp/exhibition/orai>
8. 石川松太郎・小泉吉永編、往来物解題辞典、2003、往来者倶楽部  
[http://www.bekkoame.ne.jp/ha/a\\_r/B40.htm](http://www.bekkoame.ne.jp/ha/a_r/B40.htm)
9. 東京都立図書館、「寺子屋」ってなに？、江戸東京デジタルミュージアム、2011  
[https://www.library.metro.tokyo.lg.jp/portals/0/edo/tokyo\\_library/gakumon/page1-1.html](https://www.library.metro.tokyo.lg.jp/portals/0/edo/tokyo_library/gakumon/page1-1.html)
10. 夜久竹夫、寺子屋教育と現在、第168回応用オートマトン研究会資料。YGD-2023-005

# 趣旨 寺子屋資料を活かす

3/44



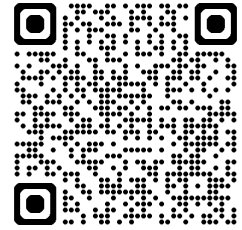
## 要旨

寺子屋教育の内容と方法を解説。  
現在を対比させて利用上の注意点を挙げる。

- ・ § 3 教育内容：カリキュラム・テキスト解説
- ・ § 2 寺子屋の概要
- ・ § 4 教育方法：法則優先方式、個別教育
- ・ § 5 現代との比較
- ・ § 6 寺子屋を指導に活かす

# 1. はじめに

4/44



## 主題と範囲

現在日本は衰退中、滅亡の瀬戸際

共有国是が無い→歴史に学ぶ：近代以前の寺子屋に解を求める

## 背景

1500年代 寺子屋始まる

1820 GDP世界比3%(マディソン統計)

1850年頃 寺子屋全盛、

1868 近代教育開始寺子屋終了

明治時代：寺子屋の受講者が日本を守った

1995 GDP世界比 18%

2020 GDP世界比% 4%

現在は衰退

現代教育の受講者には対応不可能、

土地の外国人所有、公職の帰化人登用の増加、移民の増加

墓地放棄、系図喪失

国是の喪失→憲法・行政は無力

民間伝承(寺子屋時代の名残り)が守っている。

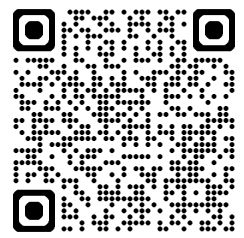


|    |                                                     |
|----|-----------------------------------------------------|
| 動機 | 規範の低下、復興                                            |
| 目的 | 1. 寺子屋を理解<br>2. 現代との比較<br>3. 活かし方                   |
| 結果 | 1. 寺子屋の教育方法、教育内容<br>2. 近代教育との違い<br>3. 方法と内容の活かし方と注意 |
| 評価 | 実現可能                                                |

## 2. 寺子屋の概要

### 2.1 寺子屋年表[1.2.5]

6/30



#### 寺子屋

漢籍 四書五經  
仏典 五時八教  
国学 記紀神典

1432頃 足利学校開学  
(～1868)

1500頃(室町時代)寺子屋  
始まる

#### 社会一般

646 **大化改新**、仏教儒教の定着、  
全土地国有(公地公民制)

701 **班田收受法**(6歳以上1代貸与)

712 古事記成立、神話定着

723 **三世一身法**(3世貸与)

743 **墾田永年私財法**(永代、私有化)

800頃 荘園成立・・・格差拡大

1591頃 **近世**始まる。

**太閤検地**・総自営農(10000平米/戸)  
総定住、総納税・**地域文化の始まり**

1603 江戸時代始まる

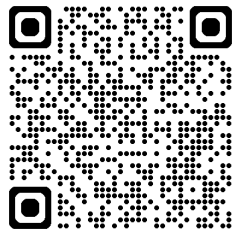
**田畑永代売買の禁止令**、**五人組**

1624-1644頃 商業出版一般化

←木版印刷**普及**(**漢字**に続く)

# 前ページから続く

7/44



**1750頃 寺子屋増加**

←文書主義

**1830-1844 著しく増加**

**1850以降 15,000以上[2]**

**1872 明治学制。仏教否定、  
画一教育、崩し字隔離**

**1872 小学教則五書**

**1879 教学聖旨(儒教だけ復活)**

**1880 文部省通牒(例えば「ウェー  
ランド」/修身論」使用禁止)**

**1890 教育勅語**

**1945 戦後教育**

宗教・道德原理隔離、  
画一教育徹底、新仮名遣い

**1868 明治維新、近代**

国教: 神仏混淆→神道

地租改正

→土地売買自由化...

→地域文化衰退始まる

**1868以降 寺子屋卒業者が日  
本を運営。国と産業が発展**

**1945 戦後体制、現代**

均分相続制・

定住妨害法制←米国

→地域文化衰退の進行

**2000代 定住衰退←均分  
相続制3代・コスパ優先...**

→地域文化消滅の危機



# 外国の例

- ハワイ王国(WIKI)

カブ(タブ=タブーの語源のハワイ方言)による統治

1810 カメハメハ大王により建国(統一)

1840 憲法発布

1848 グレートマヘレ法 土地私有化(族長に分配)

1850 クレアナ法 外国人土地所有可能

このころ 移民増加、帰化人の政府登用認可

1862時点 約75%外国人支配

1881 カラカウア大王、日本訪問・明治天皇に救援依頼

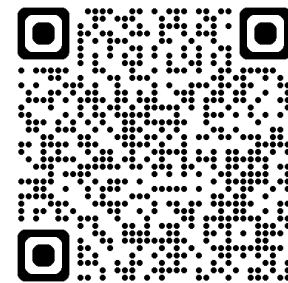
1893 滅亡

## 2.2 寺子屋の仕様

9/44



|      |                                                        |
|------|--------------------------------------------------------|
| 目的   | 読み書き算盤＋神儒仏＋作法                                          |
| 運営主体 | 寺院、共同体(村立)、教師(私塾)                                      |
| 対象   | 5,6歳位～15,16歳位                                          |
| 学校数  | 1850以降(幕末) 15000以上[5]、<br>年間300開業・江戸だけで1000～1300[Wiki] |



# 寺子屋の仕様(続き)

|      |                           |
|------|---------------------------|
| 全国組織 | 不明, 但し教科課程と教科書はほぼ<br>全国共通 |
| 教師   | 僧侶、神官、武士、一般（男女）           |
| 教師養成 | 当初は足利学校等、湯島聖堂、私塾等         |
| 授業形態 | 複式授業                      |



授業風景



足利学校



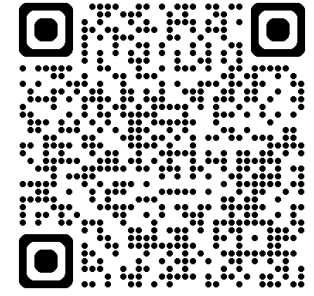
湯島聖堂



石田梅岩邸

## 2.2 寺子屋の効果

11/44



### ●効果

民度：識字率: 江戸1850、70～86%(欧米20%前後)

社会：順平等社会(大半が1町歩の納税自営法)、低犯罪率、法治

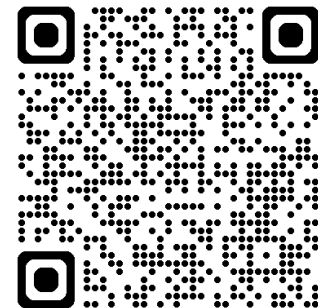
学問・技術：継続的發展

經濟成長↓ 単位 10億ドル

|              | 日本    | 英国    | 蘭   | 米      | 中      |
|--------------|-------|-------|-----|--------|--------|
| 1700         | 154   | 107   | 40  | 5      | 日本より大  |
| 1820 マディソン統計 | 218   | 348   | 43  | 124    | 1.992  |
| 1915         | 412   | 284   |     | 1.794  | 1.098  |
| 2,000 IMF 報告 | 4,888 | 1.651 | 414 | 10.285 | 1.215  |
| 2020 同上      | 5.049 | 2.711 | 910 | 20.333 | 14.723 |

## 2.3 周辺の寺子屋遺跡

12/44

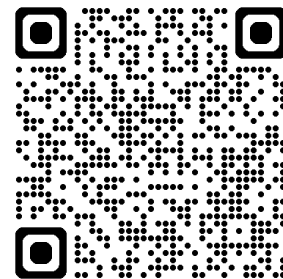


- 市内と周辺
- 筆子(生徒)参加の筆子塚(生徒が師匠を顕彰)
- 市有形文化財
- 寺院境内
- 筆子塚

画像

# 3. 教育内容：教科書

13/44



## 3. 1 教科課程概観[2]

- 全部で**27種**前後 (↓)
- **20頁/冊, 300字/頁**程度、
- **1冊600字程度**が多い

初級

国語科

七ついろは

名頭字盡  
篇盡國盡  
小野篁歌字盡

近道子宝

女用文章  
四季用文章

稚百人一首

童子千字文  
世話千字文  
童子節用集

地歴科

隅田川往来  
江戸方角書

古状揃

生活科

五人組帳前書

庭訓往来

泰平江戸往来  
風月往来

貞永式目

曆占

男女一代八卦  
三世相小鑑  
大雑書

教訓科

初登山教訓書

実語教  
童子教

女今川

今川状

職業科

百姓往来  
商売往来  
諸職往来

学芸

当流小謡

塵劫記

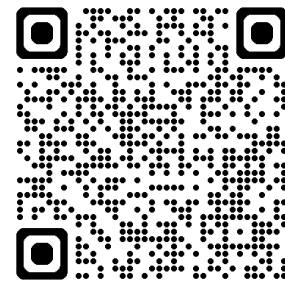
上級



全部の写真

## 3.2 入学前の読本

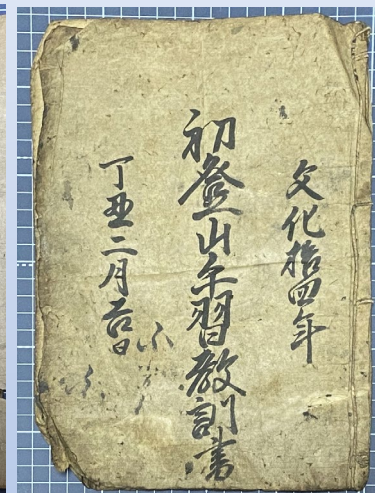
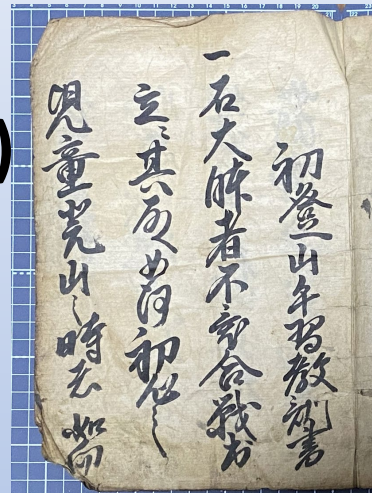
14/44



### ☆初登山教訓書

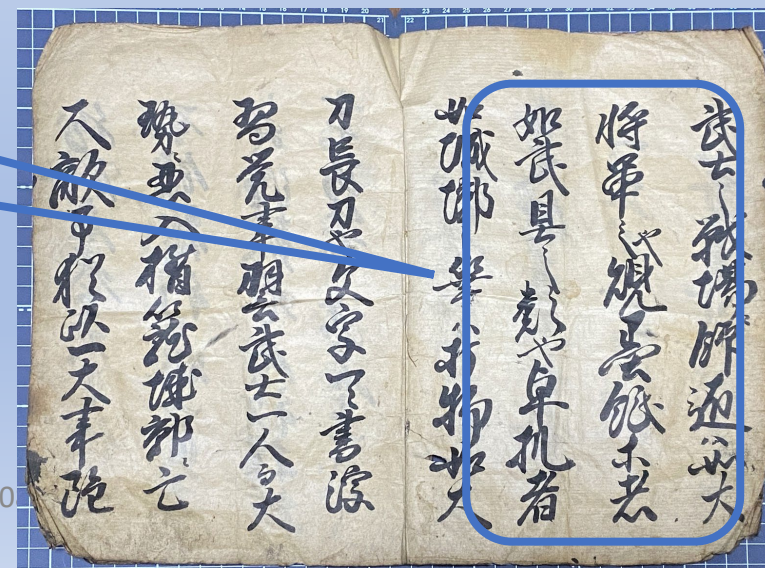
梶原平三・曾我太郎(伝) (1625)

45字 x 15p約700字の教訓



師匠は大將軍の如し、  
硯墨紙等は武具の類也・・・

から始まる教訓



# 3.3 語彙科(国語科)

15/44



単字

○ **七ついろは**、不明、1057初出

47字x同音単漢字7種計約500字

○ **名頭字尽くし**、著者不明、江戸時代中期以降

文政11年版は111文字x五体漢単字集(名字)



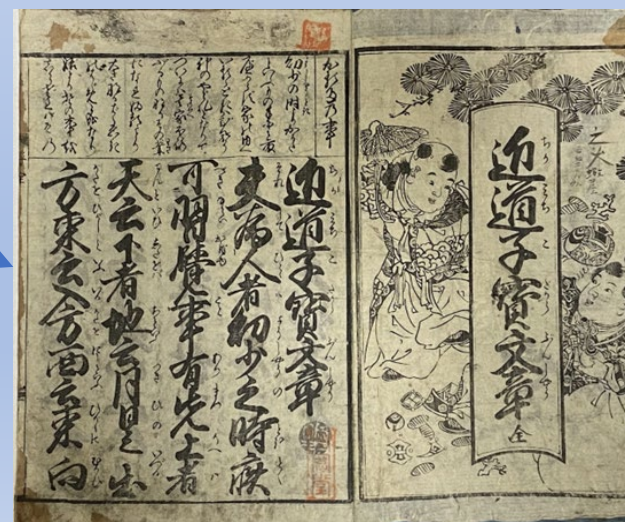
熟字

○ **篇尽くし国尽くし**、伝田中正澄、江戸時代中期頃

熟語集(国名漢字)、地誌

○ **近道子宝**、作者特定不可、1713初版

衣食住方角等の基本語彙と心得、学習法



文章

# 3.3 語彙科(国語科)

16/44



○**古状揃**、編者特定不可、江戸時代初期～中期

文学入門書。腰越状他

○**女用文章**、居初津奈、1660-1690頃  
かな文例

○**四季用文章**、平安中期頃成立  
手紙の書き方

○**童子千字文**、原書；周興嗣(500頃)

本書は作者不明、1377初出

漢字版いろは歌**1000**字

○**童子節用集**、作者特定不可、1687初出か

子供用のいろは引き辞書



# 3.4 教訓科・宗教科

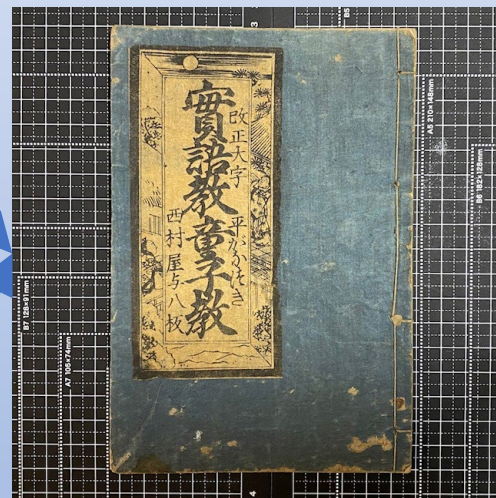
17/44

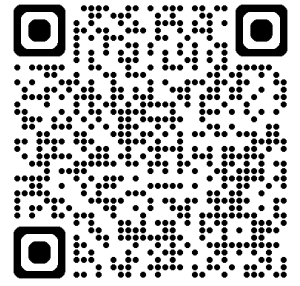


仏教五戒  
不殺生戒  
不偷盜戒  
不邪淫戒  
不妄語戒  
不飲酒戒

○童子教、僧安然(伝) (1377以前)  
1560字の教訓漢詩集  
(寺)には三礼、  
(神社)には再拝、  
人には一礼等

○実語教、弘法大師(説) (平安期)  
480字の教訓漢詩集  
人肥えたる(裕福)がゆえに尊からず  
全体に財より智他

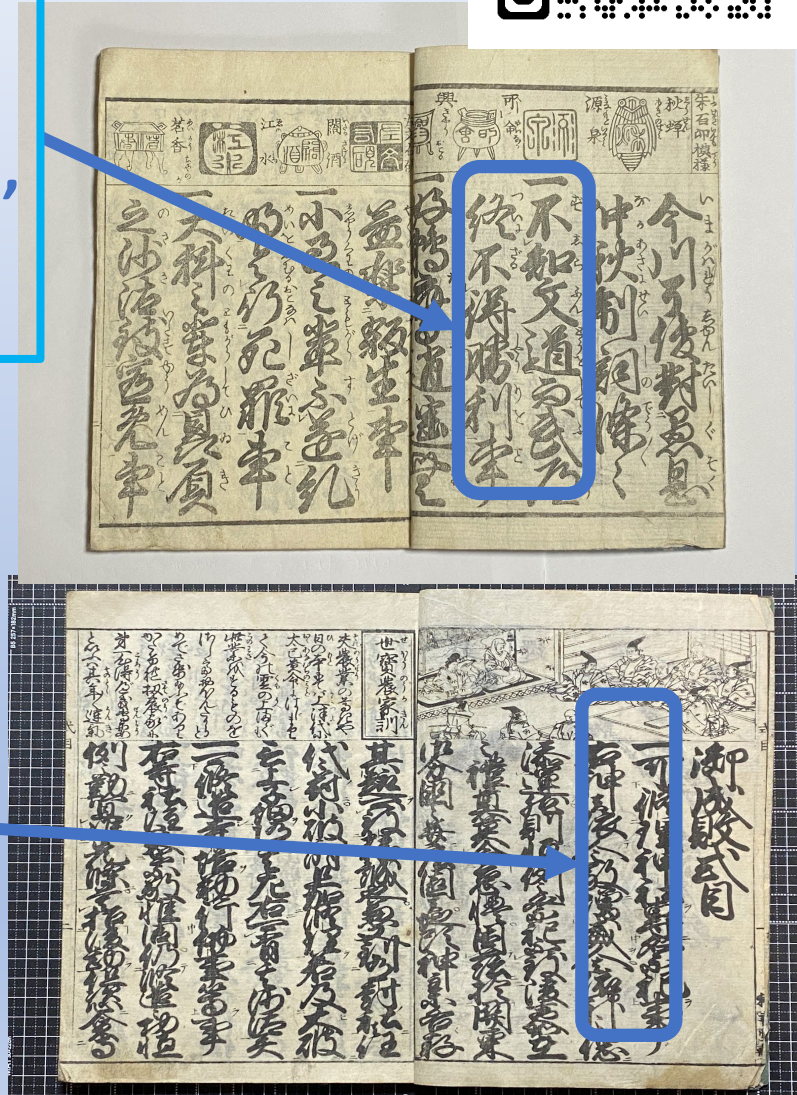




## ☆今川状、今川了俊 (1400頃成立)

家訓例：今川家家訓22ヶ条・

1. 不知文道武道終に不得勝利事,
- ・ 学問武芸を怠ると負→怠るな！



## ☆貞永式目(御成敗式目)

北条泰時 (貞永元年(1232))

当時の基本法(17条憲法の補則)。  
習字の手本。51ヶ条全文。

- 1,2条 神社仏閣の手入れすべし
- 3条 ...守護は庶民に非法を働いたらクビ

## 3.5 社会科[1]

19/44



**五人組帳前書**、江戸幕府 (1700年前後)  
農家向け法令集、  
50条前後、  
罪人通報、農地改変申告、  
農地売買禁止  
続く本文は住民協定見本



**庭訓往来**、玄恵著(説) (室町前期頃成立)  
生活用語・知識集  
月別に合計25通の書状例  
衣食住、職業、産物等



# 社会科の背景

20/44



## 地域別行事興隆

**泰平江戸往来**(自遣往来)、作者不詳(1669以前、)



**百姓往来**、作者不明(江戸中期頃)

背景：（全戸定住・全戸自営・継続保証の政策）

①←全戸定住(**代々居住**)←家督相続制

封建税制(**一定率納税すればあとは自由**)(=現在,

≠中世は定額所得で残りは全部税)←政策

4公6民(cf. 現在はほぼ5公5民)

全戸納税出来た(させた)＝“余裕”があった

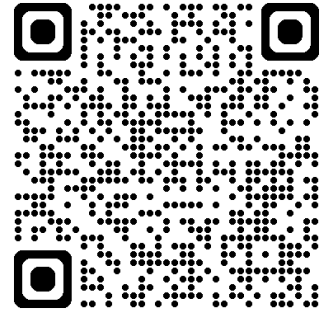
IGD-2023-008

13/24

20

マルクス、資本論、1867、  
“日本は自営農主体、  
．．．”

21/44



②←全戸自営←**全戸土地所有**

1戸当たり農地10町歩 ≈ 10,000平米(分配)

1村(約100戸)に1寺1社、

1戸三世代同居5人として1村約500人

全国約6万ヵ村、合計人口約3000万人

③←**定住保証**←土地売買禁止法

## 3.6 職業科

22/44

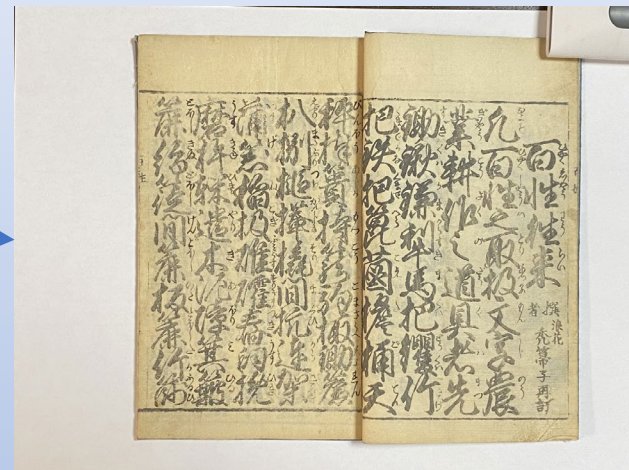


○百姓往来、禿箒子 (1766)

農家マニュアル

農業用語と技術、職業倫理

(×不申告(脱税)はダメ！)



○商売往来、堀流水軒 (1694)

商業マニュアル

商業用語と技術、職業倫理

(×(薬の)偽物はダメ！)





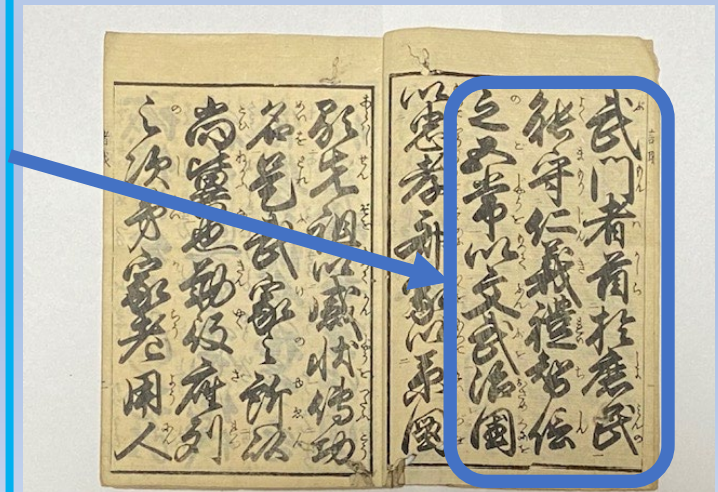
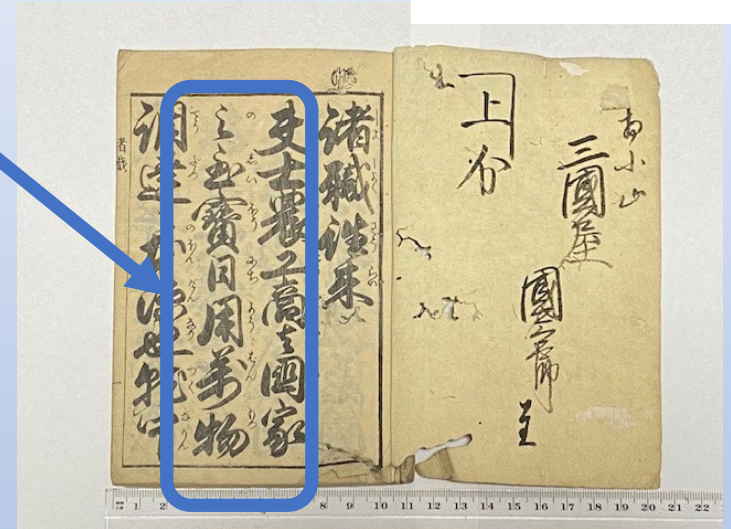
## ○諸職往来、

山田東作(賞月堂) (江戸後期)

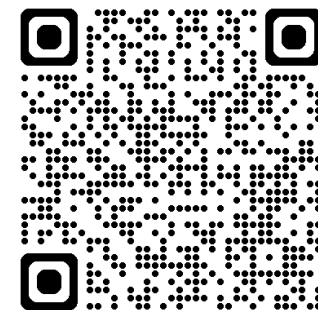
「士農工商は国家の至宝」

「武門は・・仁義礼智信五常  
文武を以って国を治め、  
系図を以って先祖を顕し、  
感状を以って功名を伝える、  
尚冀うこれ武家の所以也・」

にはじまり農工商と続く士農  
工商別の職業倫理



# 3.7 理数・芸術・暦占



24/44

○塵劫記、吉田光由 (1627)

算数

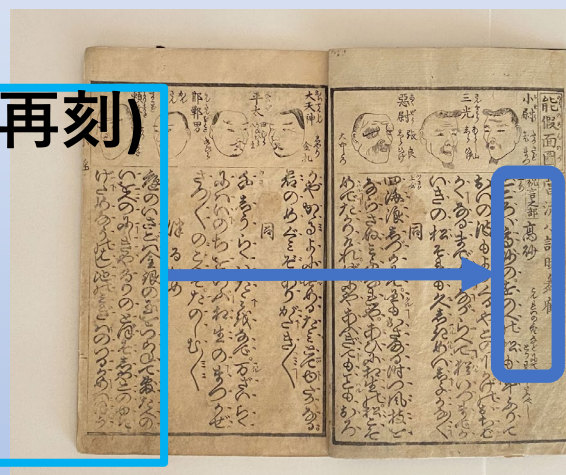
←入れこ算、ネズミ算

○当流小謡 (安政4 再刻)

歌詞集

「高砂・・・」

から始まる

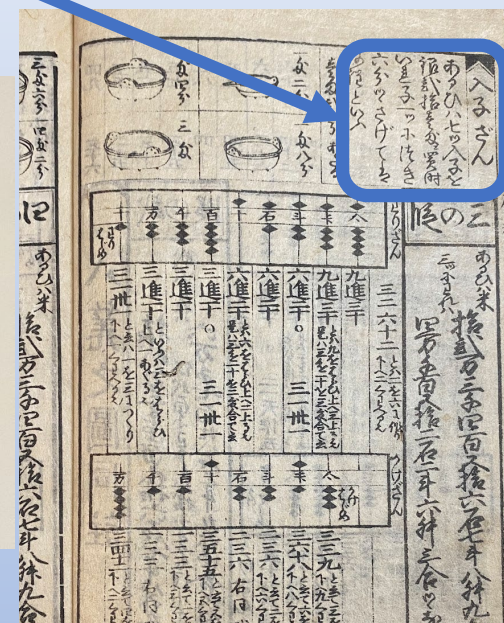


○男女一代八卦、作者不明(1786以前)、  
八卦占い(儒)

○三世相小鑑、作者不明(江戸中期)  
仏教因縁説占い(仏)

○大雑書、作者不明(室町時代～江戸時代)  
陰陽道占い(神)

YGD-2023-008



## 3.9 卒業後：一般書

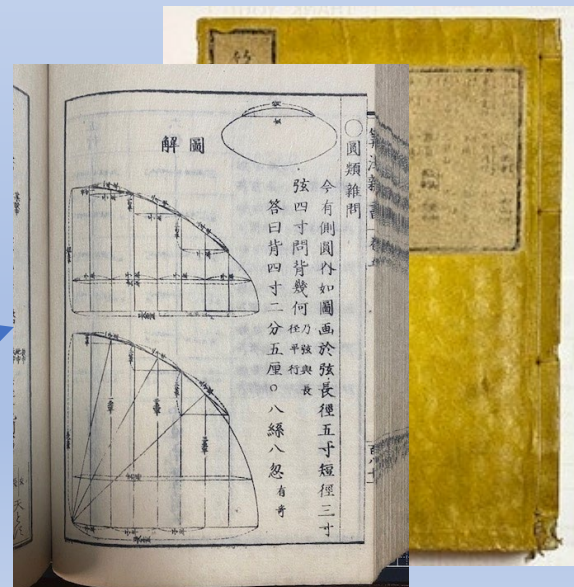
25/44



主な千部振舞(ベストセラー)書物  
**武鑑**(毎年発行)人名録(役職、家紋)  
袖玉武鑑186ページ、携帯版  
**養生訓**(貝原益軒, 1712)、  
**江戸流行料理通**(八百善, 1822)

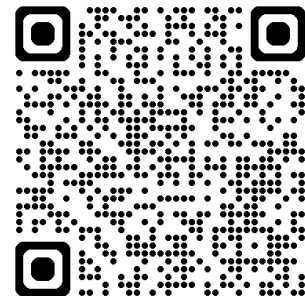


**東海道中膝栗毛**、十返舎一九、  
**北斎漫画**(北斎, 1814-)、  
**江戸名所図会**(齋藤長秋他, 1834)、  
他に**算法新書**(千葉胤秀編, 1830)  
級数迄



# 4. 教育方法

26/40



寺子屋運営書（教師用）

○寺子新式目、笹山梅安 (1695)

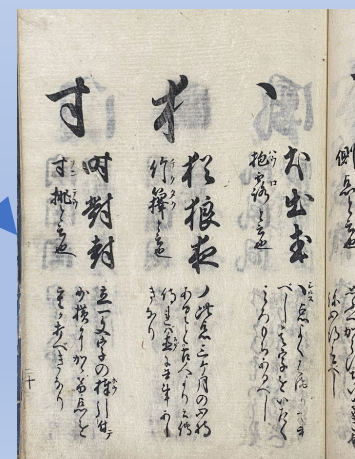
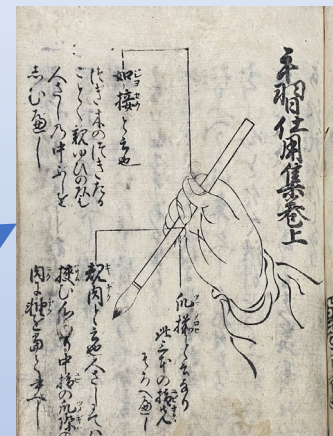
寺子屋の規則

○手習い仕用集、笹山梅安 (1693)

教える技術

○授業編、山村蘇門(序) (1783)

幼児～老人の授業内容





# 4.1 形態：複式授業 個別最適化

個別指導：個別最適化・才能重視(理系ゼミと同じ)

27/44

↔ 画一教育(近代以降)：個性は例外扱い

・・・寺子屋方式



## 4.2 順序：体得優先

先ず体で覚えさせる←習字優先  
理屈は後回し



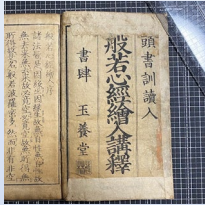
現代の体育(実技優先)、理系(書写優先、計算優先)

・・・→AIの記号接地問題・身体知

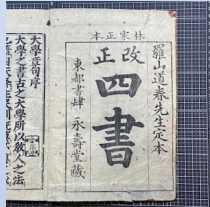
# 4.3 知識構造：体系的

原理：取り扱わない、  
教師の知識

宗教：仏教 五時八教他經典



道德：儒教 四書五經他



文化：国学。記紀万葉等神典



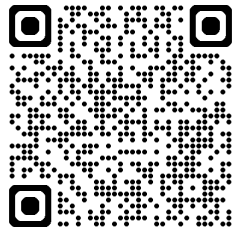
童子教

実語教

庭訓往来

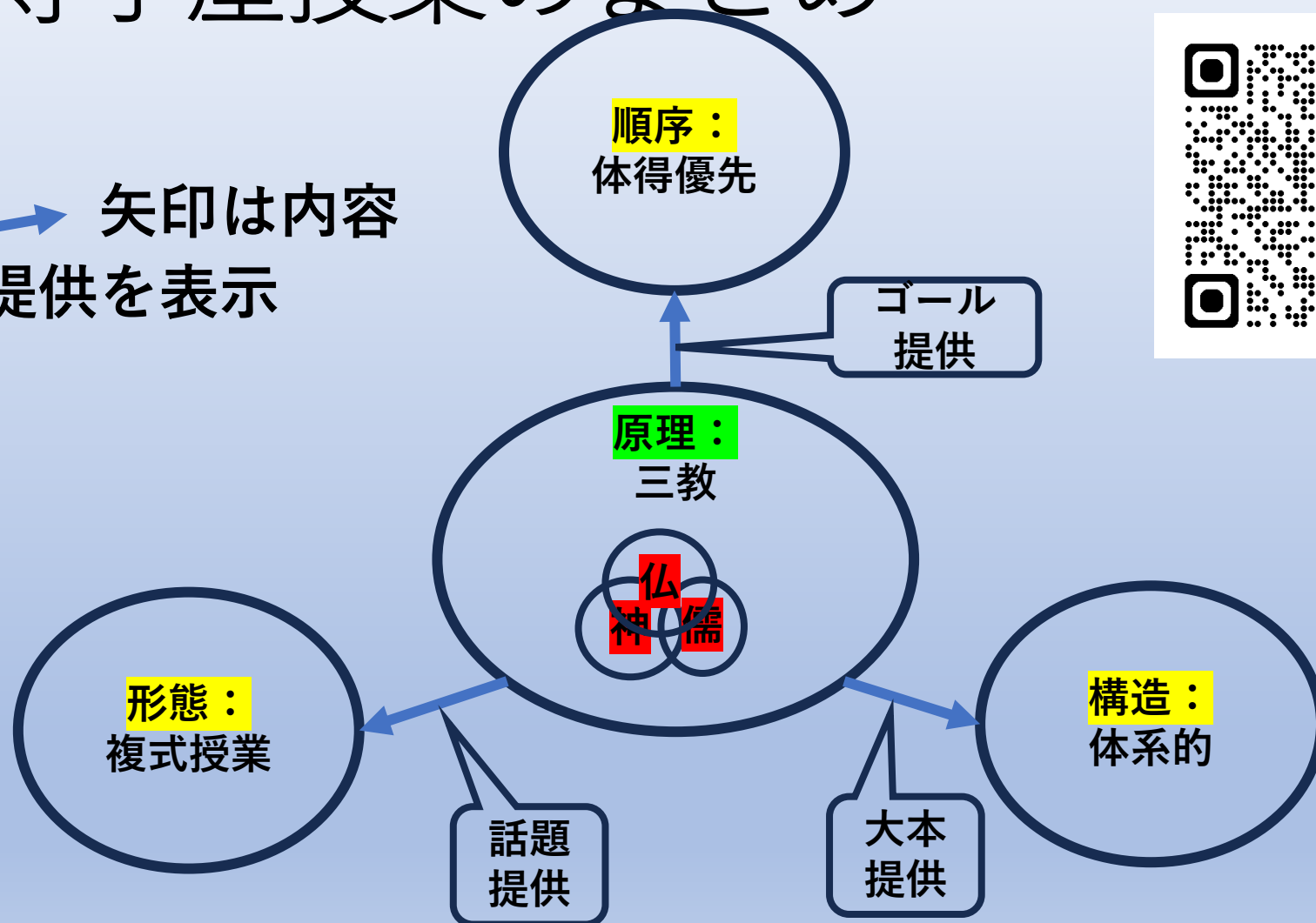
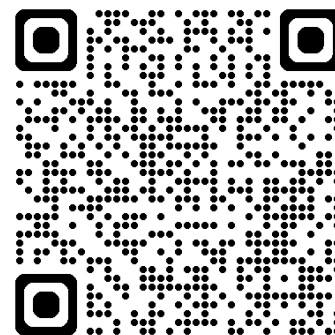
法則：覚えさせる  
疑わせない  
あとで考える

書写→理解の順。身に付けた後で意味を考える  
深遠な原理には触れず分かり易い法則だけ教える  
現在の理科教育と同じ構図



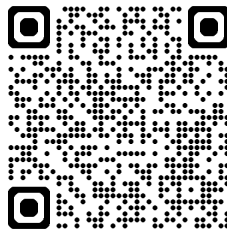
# 寺子屋授業のまとめ

→ 矢印は内容  
提供を表示



# 5. 近代の教育

31/44



## 5.1 内容: 原典は実質非周知→非体系的)[3]

小学教則 修身(5タイトル)

第八級(1前) 「民家童蒙解①・童蒙教草②等ヲ  
以テ教師口ツカラ縷縷之ヲ説諭ス」

第七級(1後) 「前級ノゴトシ」

第六級(2前) 「勸善訓蒙③・修身論④等ヲ用ヒ教  
師之ヲ講述スルコト前級ノゴトシ」

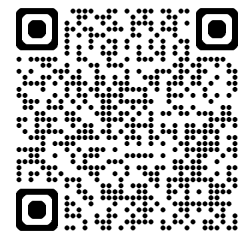
第五級(2後) 「性法略⑤等ノ大意ヲ講授ス」



| 教則修身五書 | 著訳者  | 原書（著者の多くは宣教師）                                                                      | 原理          |
|--------|------|------------------------------------------------------------------------------------|-------------|
| ①民家童蒙解 | 青木輔清 | 巻1・2は各種倫理書から収録<br>巻3・5は「ウェラント 著、ウイストム」の抄訳                                          | 聖書          |
| ②童蒙教草  | 福沢諭吉 | チャンブル著、「モラル・カ lassブック」                                                             | ギリシャ<br>哲学書 |
| ③勸善訓蒙  | 蓑作鱗祥 | 前編3冊 ボンヌ著、フランスの小学校教科書<br>後編8冊 ウィンロー著「モラル・フィロソフィー」<br>続編4冊 ヒコック著「システム・オブ・モラル・サイエンス」 | 西洋美学書       |
| ④修身論   | 阿部泰蔵 | ウェラント 著「エレメンツ・オブ・モラル・サイエンス」 天(God),<br>聖人(キリスト)                                    |             |
| ⑤性法略   | 神田孝平 | オランダ人フィッセルング の自然法講義                                                                |             |

# 教育内容の比較

33/44



## 寺子屋

### 知識構造

**体系的**

**基盤は原典↓：明確**

文化(国学)：記紀万葉  
他(約44万字)

道德(漢籍)：四書五經  
(約48万字)

宗教(仏典)：大正大蔵  
經(860万字, 99年現在)

算数：算数新書等

### 知識内容

**文化道德宗教三教の中心**

- ・安全意識は低い
- ・人権意識は低い
- ・男女は区別

## 近代以降の学校

**理系は体系的、原理原典明確：**  
例) 理科→物理学辞典・化学辞典  
数学→数学辞典

**基盤：親学問**

**道德科、倫理科、情報科は羅列的  
基盤無し(生徒に考えさせる)**

←**原典非提示**

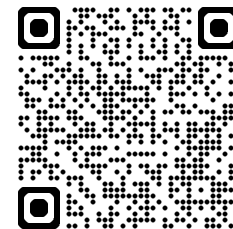
日本：安全と財産優先？**中心無し**

仏：国是**第五共和制市民**の育成、  
原理明確

米：国是**忠誠の誓い**(唯一神教正義  
の普及)←**原典は聖書**

## 5.2 教育方法の比較

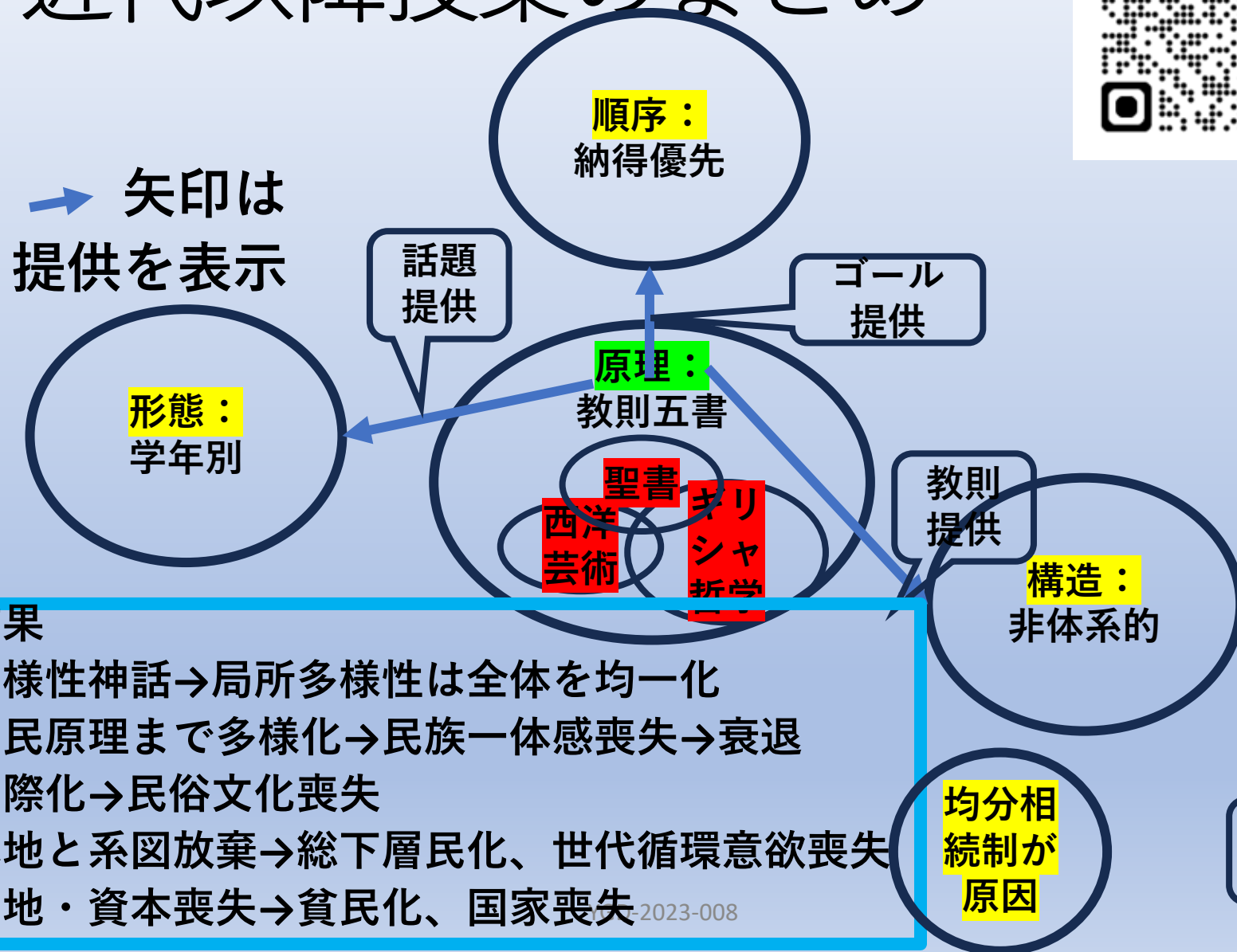
33/44



| 項目     | 寺子屋の教育方法                                                                | 近代以降の学校の教育方法(日本)                                                     |
|--------|-------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|
| 授業形態   | 複式学級<br>個別指導＝個別最適化                                                      | 教室：学年制、飛び級無しだと悪平等のおそれ<br>ゼミ：個別指導、個性才能伸びる                             |
| 授業順序   | 体得優先<br>形から教える<br>(現在の理系方式：例えば数学科では定理を先に身に付けさせる。証明はあとから。依拠する数学原理は疑わせない) | 理系と体育は形から教える<br>身体知、記号接地問題・・・AI<br><br>道徳・倫理は納得優先、生徒に考えさせる→原典不提示だと混乱 |
| 社会性の涵養 | 原理原則準拠。<br>原典に沿った決まりを教える。<br>多分原典明示                                     | 集団順応、原理原典不提示<br>いじめには逃げる                                             |



# 近代以降授業のまとめ



# 認識の比較：誤解

35/44

| 項目      | 現在の認識(多分誤解)             | 寺子屋時代の実情                               |
|---------|-------------------------|----------------------------------------|
| 崩し字     | 学習難易度高い                 | 学習容易(全員履修)                             |
| 教科書     | 楷書版が無いと現代人読解不可。         | 崩し字(かな100字)覚えれば読解可能                    |
| 教訓/道徳教育 | 古い、前時代的                 | 原理原典が明確<br>→身体で覚えさせて体得可能<br>体系的：現在の理系的 |
| 士農工商    | 日本の制度、身分制度<br>交替不可能     | 中国の用語、家業<br>仕官で交替可能                    |
| 近世の農村と税 | ほぼ小作<br>重税(現在の5公5民より重い) | ほぼ自営農<br>4公6民<br>寺子屋を維持する余裕あり          |

## 6. 寺子屋で作法のリ・スキリング

### 注意

- ・ 文化(伝統的行事)を身に付けさせた→共通作法
- ・ 道徳を身に付けさせた→「五常・仁義礼智信」善悪夫々の程度
- ・ 宗教を身に付けさせた→「五戒」生き方「人生は修行、七生」

→・・・→「作法・道徳」の格差が拡がらない・安全な社会  
リ・スキリング

学校で教わらなかった、「法則優先方式と読み書き算盤以外」の「文化・道徳・宗教」をリ・スキリング

文化(作法)：今川状・庭訓往来（原典：記紀神典）

道徳(五常)：実語教（原典：四書五経）

宗教(五戒)：童子教（原典：五時八教）

# 例. 大人の再教育(形から覚える = 理系方式の徹底)

童子教、実語教、世話千字文（格言）

仏三礼・神再拝・人一礼

財より智

自他幸甚・商売繁盛 他

庭訓往来（季節行事）

正月行事 他

寺子新式目（教室ルール）

言う事を聞かない生徒は親に返す

# 注意 1. 教育原理が違う 違うところは違うと考える必要有り

39/44

- 寺子屋教育原理：三教(神儒仏)依拠  
(調べれば理由が分かる)
- 近代以降教育原理：教則修身五書依拠(開始時点)  
←西洋美学、ギリシャ哲学、キリスト教依拠  
(良く調べないと分からない、社会規範と乖離)

儒教→漢文へ、4文字熟語・・・

神道→国語へ

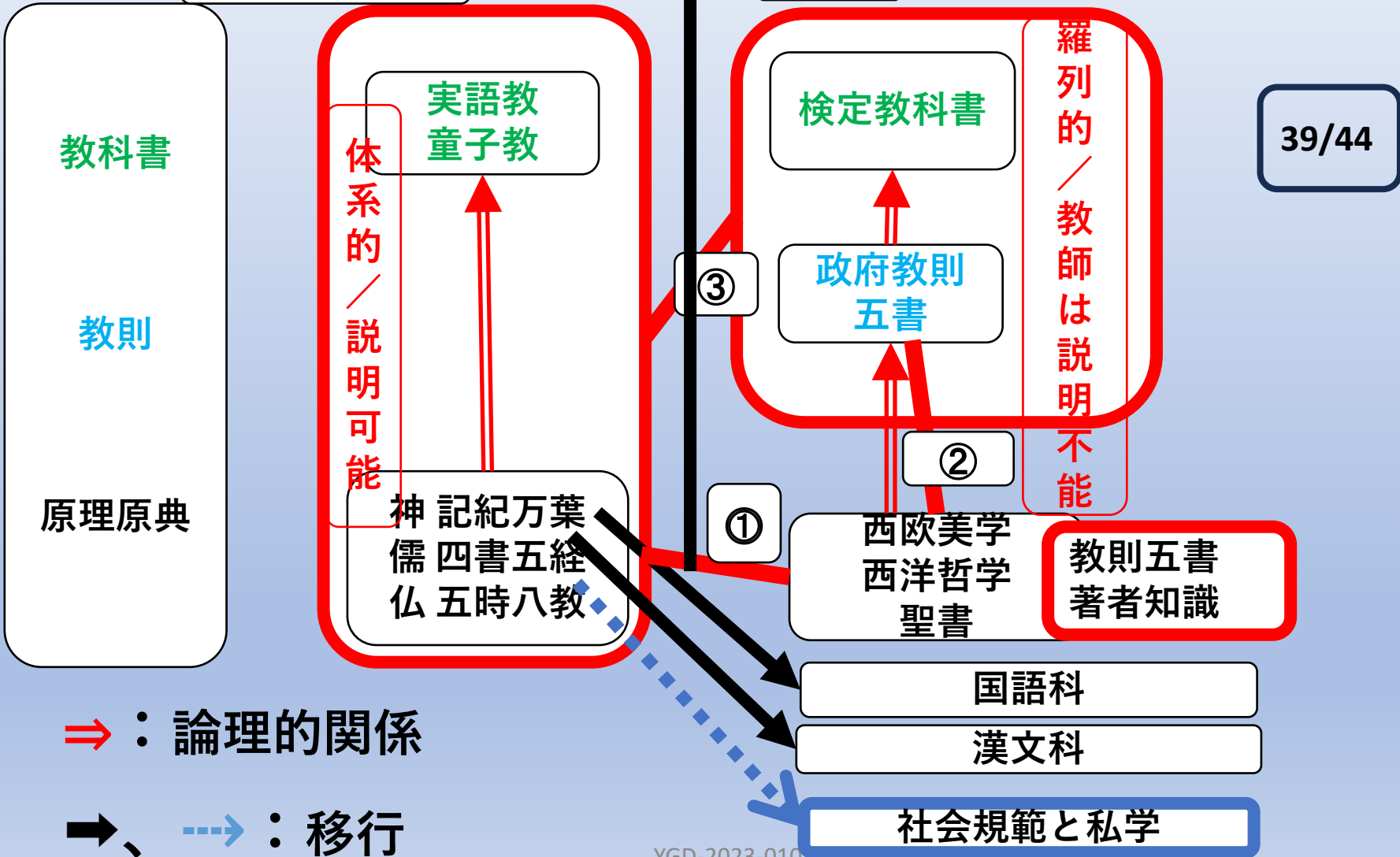
仏教→行事、諺・・・

寺子屋の規範は社会規範に残っている。  
世代進行とともに消滅予想

# 明治当初の教訓科 3 断絶 ①原理、②論理、③

③”大人になったら分かる” → ”大人でも分からない”

古代中世近世 教師知識      近代 教師・教科書著者知識



# 注意 2. 寺子屋教育をまとめた書 現代の大人用

40/44

- **寺子調法記**、下河辺拾水、天保3(1832)、  
伏見屋半三郎他板、実語教・童子教、  
今川状、腰越状、商売往来の合本



- **女寺子調法記**、池田東離亭編、天保13(1842)、山城  
屋他板

女実語教、女今川、縫針、歌かるた、  
琴・三味線、七夕詩歌、女詞づかひ、  
折形の図、十干十二支、男女相性など



# • 童子通、山本舊逸、天保15(1844)

41/44

## 数字関連

十千十二支 甲乙丙丁・・・、子丑寅卯・・・

五常 仁義礼智信

五倫 父子、君臣、夫婦、長幼、朋友

七情 喜怒哀楽愛惡欲

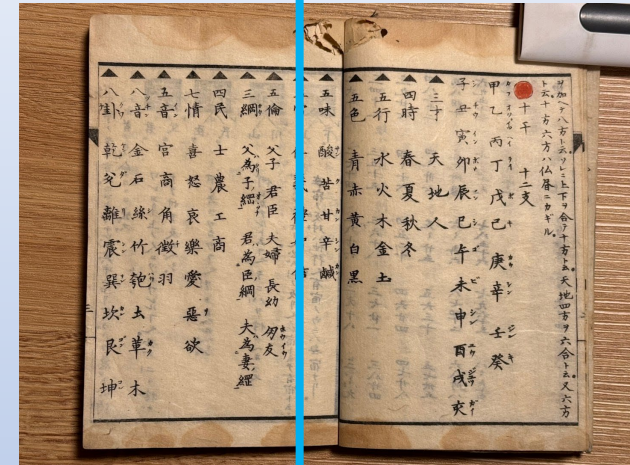
九經字数（四書五經か）

論語 12,700字など総計484,095字

歴史書一覧

十七史、二十一史

本朝三部本書、本朝六国史



# • 増補童子字尽、浅田恒隆、安永5(1776)

囲碁の用語、のしの折り方、

席順、着物畳方など常識全般



# 注意3. 大人の常識(当時の若者教育) ・ 現在の大人用

42/44

## ・ 女重宝記、苗村丈伯、元禄5(1692)初出

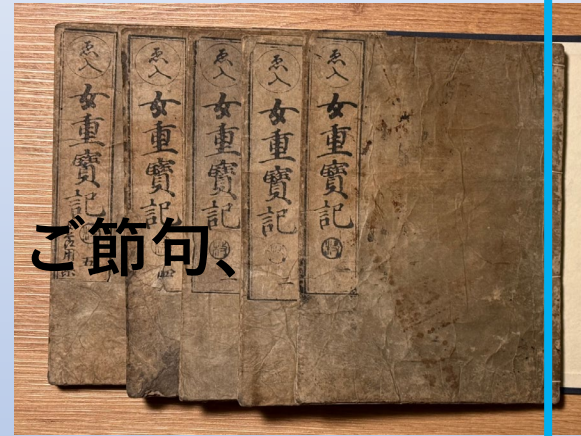
1. 女中万たしなみの事(女は人間のはじまり、養生、言葉遣い、

化粧他)、

2. 祝言の事、 3. 懐妊の事

4. 諸芸の事(文、歌書、琴、(源氏物語、  
小笠原流折かるた、香他)

5. 女節用集字尽形 他)



## ・ 男重宝記、草田寸木子(苗村丈伯)、元禄6(1693)初出

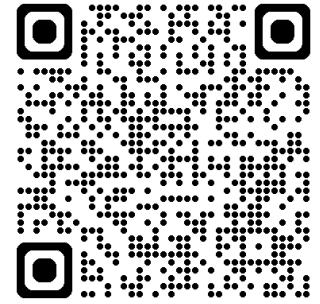
童男の知りて重宝、男子一代の総論：

よみかき学文の芸を第一、和歌、連歌、  
俳諧、茶の湯、碁、将棋、立花(りっか)、  
しつけ五十一箇条

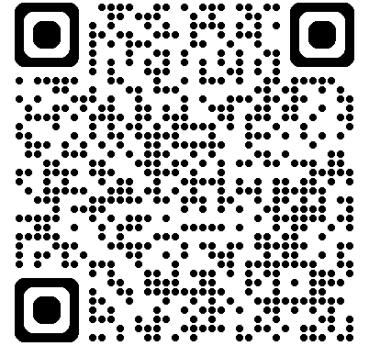


# 7. おわりに まとめ

43/44



- 寺子屋の概要→年表、仕様 . . . . . § 2
- 教育内容→カリキュラム・テキスト解説・ § 3
- 教育方法→法則優先方式、個別教育 . . . § 4
- 近代の教育→現代の方法と内容を比較 . . § 5
- 寺子屋を現在の教育に活かす→注意点 . . § 6
- リスキリング re-skilling



# 今後の課題

- 周知

WEBへの掲載

大人を教育

大人を通じた子供への浸透

# END